

平成29年度	消防長		次長		課長		係長		主任		設計者	
--------	-----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	-----	--

事業名	平成29年度 防火水槽設置工事 1号(石川)	(起工) 第 回変更
-----	------------------------	---------------

事業場所	石岡市石川779 地内
------	-------------

設計 大 要	1 防火水槽内寸	施行方法	請負
	L5.0×W4.0×H2.0 (40m³)	施行期間	平成 年 月 日から
	2 オープンカット工法		平成30年 2月 28日まで
	3 RC造	請負人	
		保証人	

【工事設計書】 【石岡市消防本部 総務課】

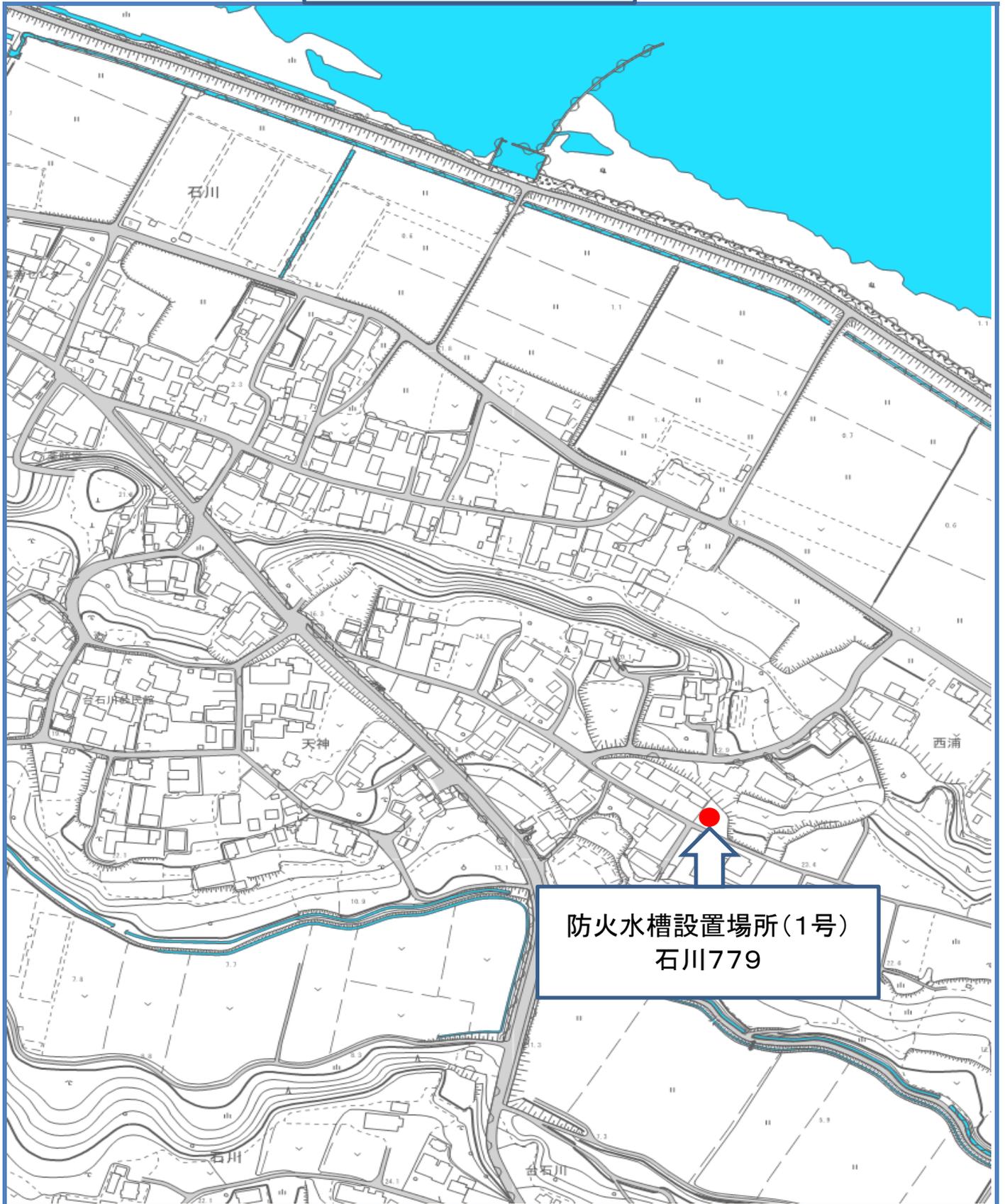
変更理由	
------	--

費目	起工	第一回変更	第二回変更	増△減
起工額				
請負いに負する額 又は請負額				
測量及び試験費				
用地費及び補償費				
消費税額				
請負決定額				

変更請負額算定基礎 $\text{変更請負額} = \text{変更請負に対する額} \times \text{請負比率} \left(\frac{\text{起工時の請負決定額}}{\text{起工時の請負に対する額}} \right)$

請負に対する額		×	請負比率		=	請負額

位置図



本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	2 9 防火水槽設置工事 (1号) 石川						
	総括表						
A	直接工事費		1.0	式			
B	共通仮設費		1.0	式			
	純工事費						
C	現場管理費		1.0	式			
	工事原価						
D	一般管理費		1.0	式			
	工事価格						
	改め計						
	消費税相当額		1.0	式			
	請負付する額		1.0	式			

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A	直接工事費						
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	土工事		1.0	式			
3	コンクリート工事		1.0	式			
4	鉄筋工事		1.0	式			
5	左官工事		1.0	式			
6	雑工事		1.0	式			
	直接工事費 計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	水盛り遣り方		26.2	m ²			
	墨だし		26.2	m ²			
	外部足場損料	単管1本足場	69.5	架m ²			
	内部足場	脚立足場	20.0	m ²			
	養生費		20.0	m ²			
	清掃片付け		20.0	m ²			
	用水費		1.0	式			
	水替え費		1.0	式			
	小計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	土工事						
	根切り	機械堀	118.3	m ³			
	埋め戻し	締固め共	55.5	m ³			
	残土処分	場内敷均し	62.8	m ³			
	碎石地業	目潰し突き固め共	6.53	m ³			
	小計						

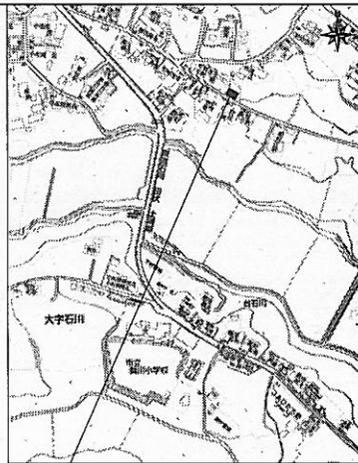
本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	コンクリート工事						
	捨てコンクリート	FC=18N/mm ²	1.63	m ³			
	同上打設手間	ポンプ打ち	1.63	m ³			
	鉄筋コンクリート	FC=24N/mm ²	32.6	m ³			
	同上打設手間 耐圧盤	ブーム式ポンプ車	1.0	式			
	同上打設手間 一般	ブーム式ポンプ車	21.8	m ³			
	型枠	一般	73.2	m ²			
		打放し合板型枠	51.0	m ²			
	型枠運搬費		124.2	m ²			
	強度試験費		1.0	式			
	小計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	鉄筋工事						
	異形鉄筋D10	SD295A	0.022	t			
	異形鉄筋D13	SD295A	2.799	t			
	異形鉄筋D16	SD295A	0.564	t			
	鉄筋加工組立		3.375	t			
	運搬費		3.38	t			
	小計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	左官工事						
	底盤木ゴテ均し		25.8	m ²			
	床防水モルタル金ゴテ押エ		23.3	m ²			
	壁防水モルタル金ゴテ押エ		36.9	m ²			
	天端コンクリート金ゴテ押エ		26.2	m ²			
	マンホール蓋回りモルタル補修		0.5	m ²			
	マンホール回りモルタル補修		1.4	m ²			
	小計						

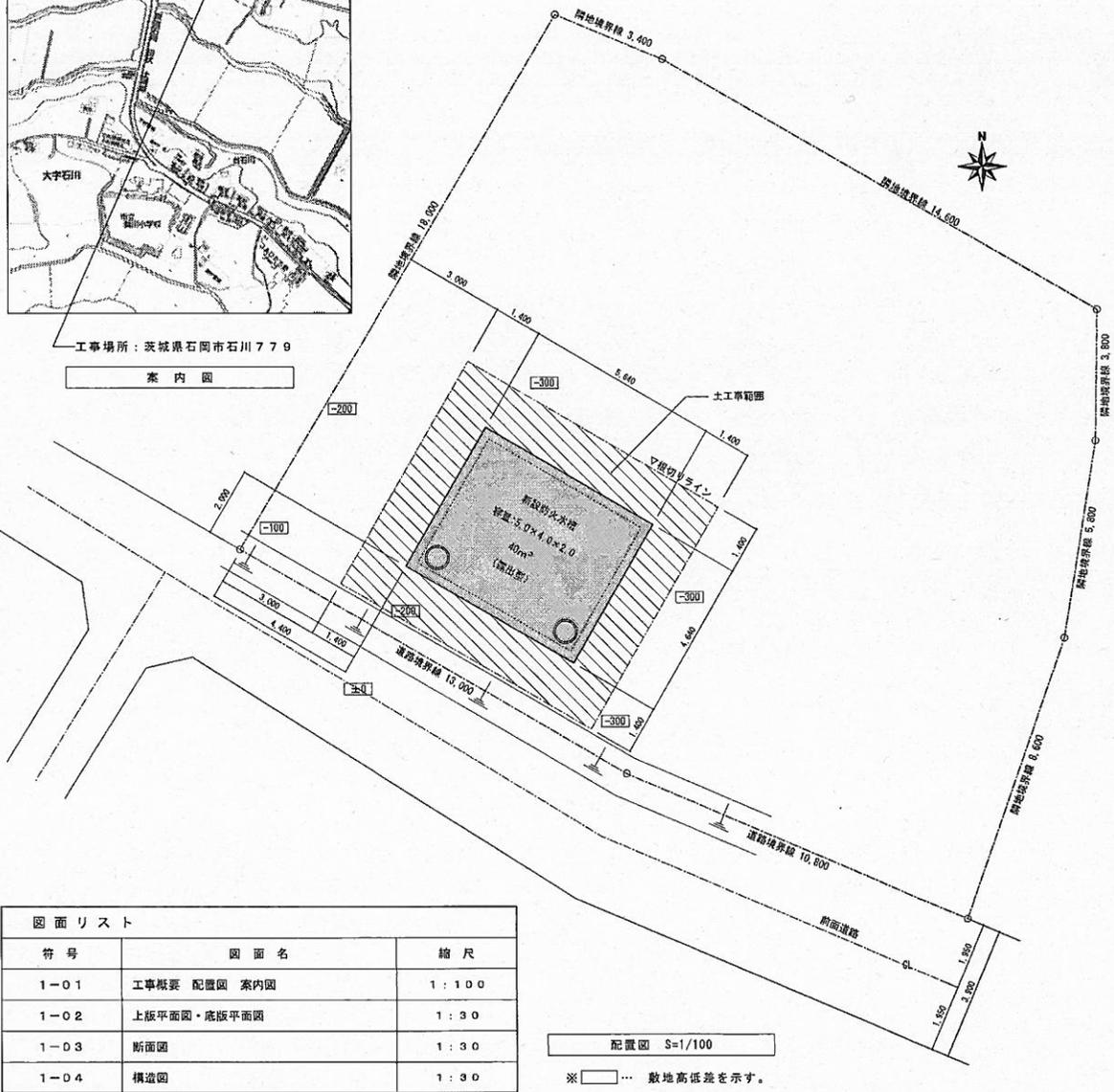
本 工 事 費 内 訳 書							
番 号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	雑工事						
	防火水槽用マンホール600φ	デザイン柵蓋	2.0	か所			
	防火水槽標識板	アルミ製600φ	1.0	か所			
	止水板		19.4	m			
	小計						

1. 工事概要	
工事名	平成29年度 防火水槽設置工事 1号 (石川)
設置場所	茨城県石岡市石川779
工事主	住所 茨城県石岡市石川1丁目1番地1 氏名 石岡市長 今泉 文彦
2. 特記事項	
一般事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 本工事は、1.現場説明書・見積書・質疑応答書 2.特記事項・設計図書 3.建設大臣官庁官庁管轄部 監修建設工事共通仕様書 4.公共規格及びこれに準ずる規格に基づき施工を行うこと。 2 設計図書の質疑は工事契約前に確かめ契約すること。 3 契約・施工時・施工完了時の提出書類等及び、郵数は石岡市の慣例に依るものとし監督員の承諾を得ること 4 本工事は使用する材料のうち係員の指示により、其の成績表を提出すること。 又、係員認める試験所で試験を行い結果報告書を提出すること。 5 工事に充てる工事工程表・工事協力業者名簿・メーカーリスト・設計図書・施工図・色調 コンクリート配合計画書、使用材の見本品等を係員に提出し承認を得て工事に入る。尚、使用承認願いは、3部提出。 6 工事写真は施工状況のわかるよう撮影すること。特に施工後 隠蔽されてしまうところ、かげになり又は 高くて見にくいところ等は 入念に撮影しておくこと。 7 工事着工前・工事完了後等、充分に説明の出来るよう撮影し、アルバム1部提出のこと。 8 工事竣工図(竣工箇所は赤記入の上)及び施工図等、承認関係図表、A4版製本、工事名称等を記入の上 1部提出のこと。 9 定例打合せ会議は週1回程度とする(係員と打合せの上)。 10 工事中の労災等保険は請負業者の負担にて加入のこと。 11 工事に際しては市道、道路側溝及び、近隣住民、通行者等に損傷を与えないよう注意し養生すること。 損傷を与えた場合は、速やかに現況に復旧するものとする。 12 工用水・電力等は利用できない。 13 撤去物等 産業廃棄物の処分は、リサイクル法に基づいて官公庁にて認められたる産業廃棄物処理業者による ものとし、最終処理業者迄の処分経路を明確にし、係わる産業廃棄物業者の許可・認可の証明書提出。 14 使用材料は指定メーカー等あるも、同等品以上とすることができる(係員の承認を得ること。) 15 工事作業中は、安全に万全を期すこと。
仮設工事	<ol style="list-style-type: none"> 1 仮囲いは設計図書によるも撤去後は現況に復旧すること。 2 畑及び設置場所周辺等に車輛等の車輪のあと等の損傷の出来ないよう養生すること。損傷を与えた場合は、 速やかに現況に復旧すること。
土工事	<ol style="list-style-type: none"> 1 設計GL、BM及び設置位置は係員の承認を受けること。 2 根切り土の仮置きは係員の指示による。 3 埋戻し部分は地盤の沈下の恐れのないよう、一層H=300mm程度毎に埋戻し均一に転圧しながら 埋め戻すこと。埋戻し土は良質の根切り土とする。
鉄筋工事	<ol style="list-style-type: none"> 1 使用材料はSD295Aとし、組立後配筋検査を受け、承認後コンクリート打設とする。尚、ミルトは必ず提出のこと。
コンクリート工事	<ol style="list-style-type: none"> 1 有筋コンクリートは、24N/mm²、無筋は18N/mm²とする。尚F1ビ-スを採用し圧縮強度試験報告書を提出のこと。 2 F1ビ-スは、1週、4週、型枠取外し決定用、その他必要に応じて各3種ずつ採取し、 4週のF1ビ-スは公的機関(茨城県建設技術センター等)で行うこと。
3. 工事項目	
防火水槽	容量：5.0m×4.0m×H2.0 40m ³ タイプ 現場打ち 鋼矢板使用の有無：オープンカット工法 水槽高さ：図面参照(係員の承認をうけこと。) 防火水槽用バルブ：600φ(石岡市指定) 2ヶ所 設置場所の確認等：着工前に仮杭を打ち所有者に確認してもらう 標識：1ヶ所設置
その他	設計図通りに完成する為には、必要な作業は指示・名示のない場合でも、 請負工事範囲内にて完成させること。また、請負金額の増減は認めない。



工事場所：茨城県石岡市石川779

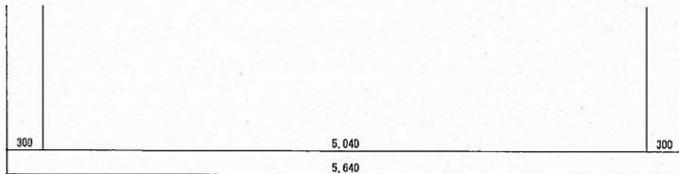
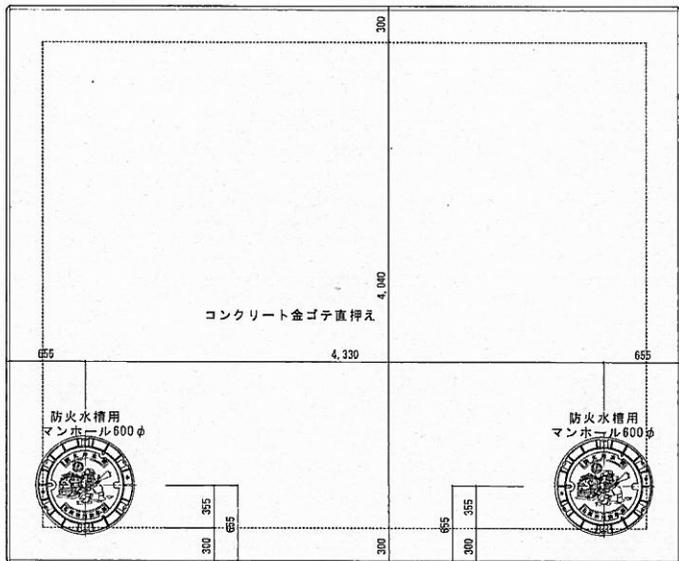
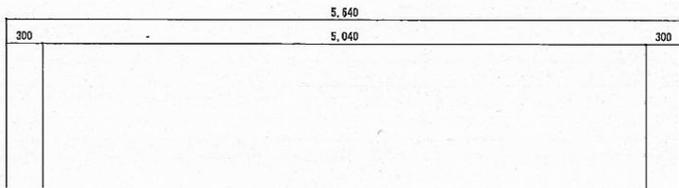
案内図



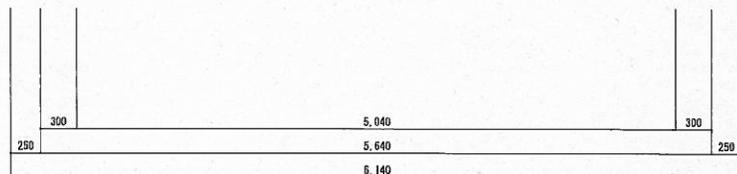
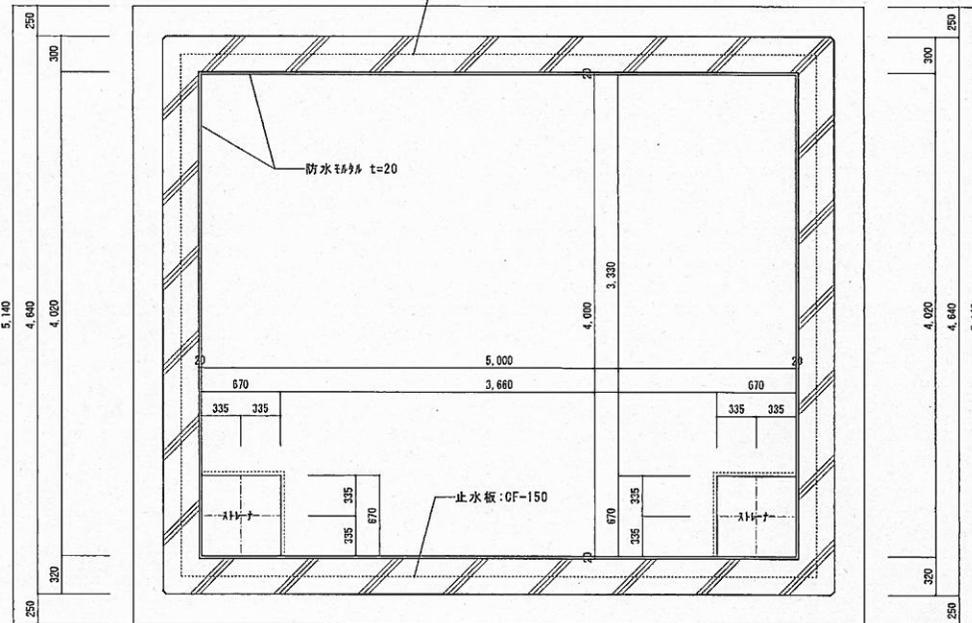
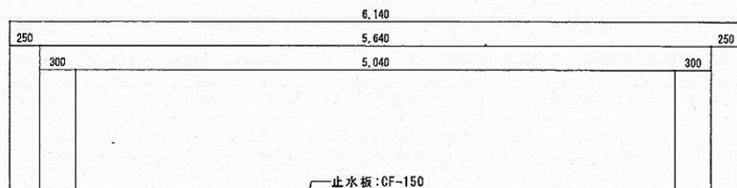
符号	図面名	縮尺
1-01	工事概要 配置図 案内図	1:100
1-02	上版平面図・底版平面図	1:30
1-03	断面図	1:30
1-04	構造図	1:30

配置図 S=1/100

※ □ … 敷地高低差を示す。



上版平面図 S=1/30



底版平面図 S=1/30

容量	40 m ³
内寸法	5.0 × 4.0 × H2.0
地盤面材/高	GL +600
備考	



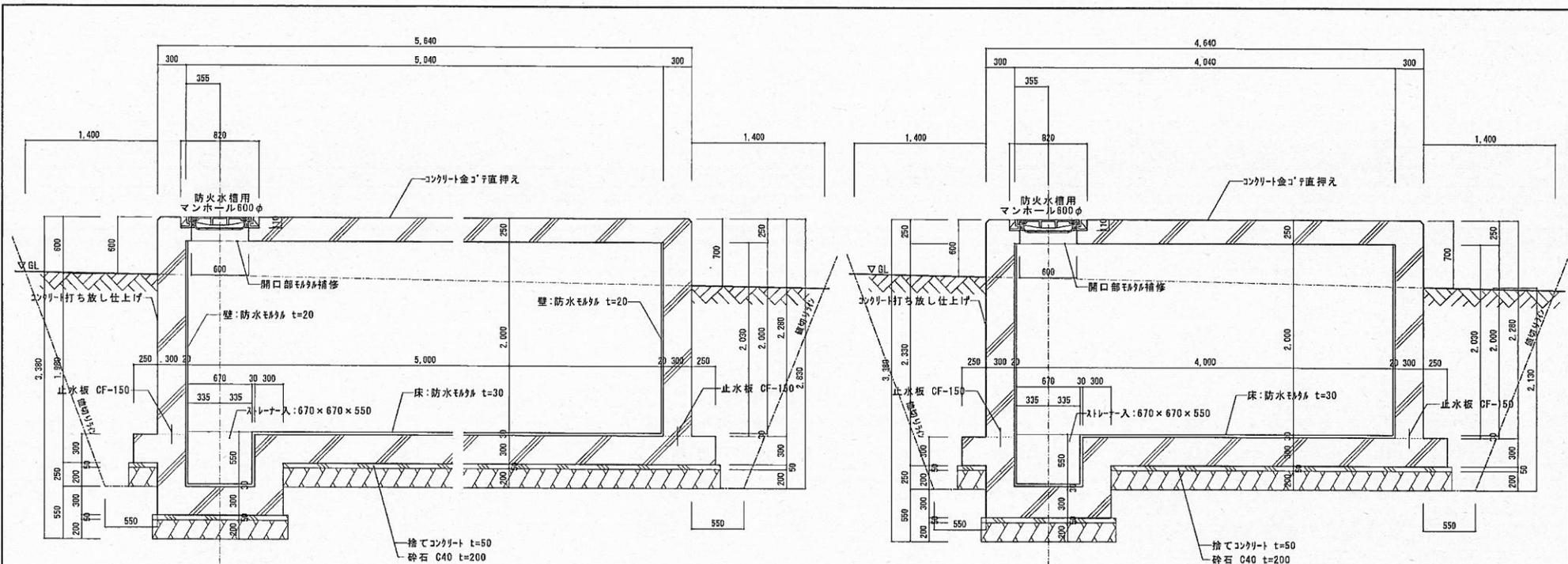
一般建築士事務所 (有)クボタ建築設計事務所
 茨城県 高A2210号 (2805)
 建設大臣登録第210340号 一般建築士 久保田 吉文



縮尺
 S=1:30
 設計年月日

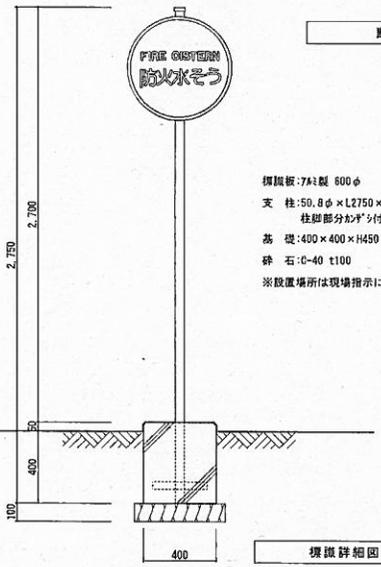
工事名称 平成29年度 防火水槽設置工事 1号 (石川)
 図面名称 上版平面図・底版平面図

1-02
 NO.

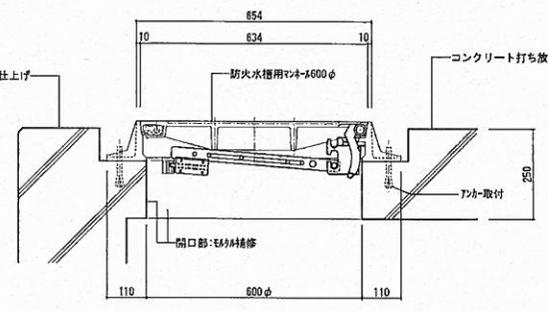


断面図 S=1/30

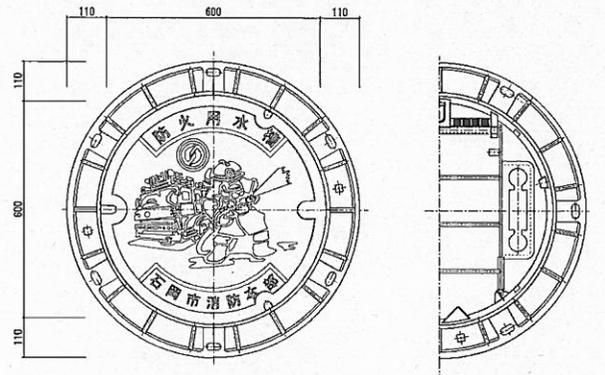
断面図 S=1/30



標識詳細図 S=1/20



防火水槽用マンホール詳細図 S=1/10



鋼製防火水槽用マンホール600φ
SUS棒子付 F'φ'径蓋
材質: S10HRH-60-GI T25
同等品以上

容量	40 m ³
内寸法	5.0×4.0×H2.0
地盤面の高さ	GL +600
備考	


 一級建築士事務所 (有) クボタ建築設計事務所
 茨城県 第A2210号 (2003)
 建設大臣登録第210340号
 一級建築士 久保田 吉文

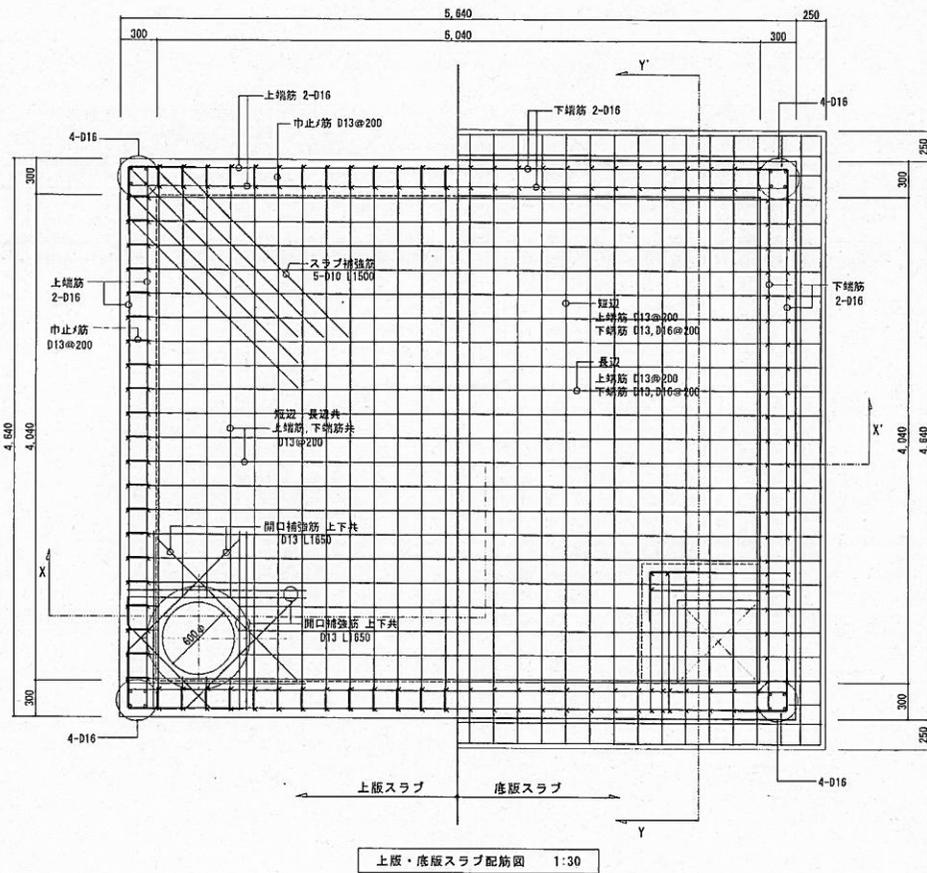
設計担当製図



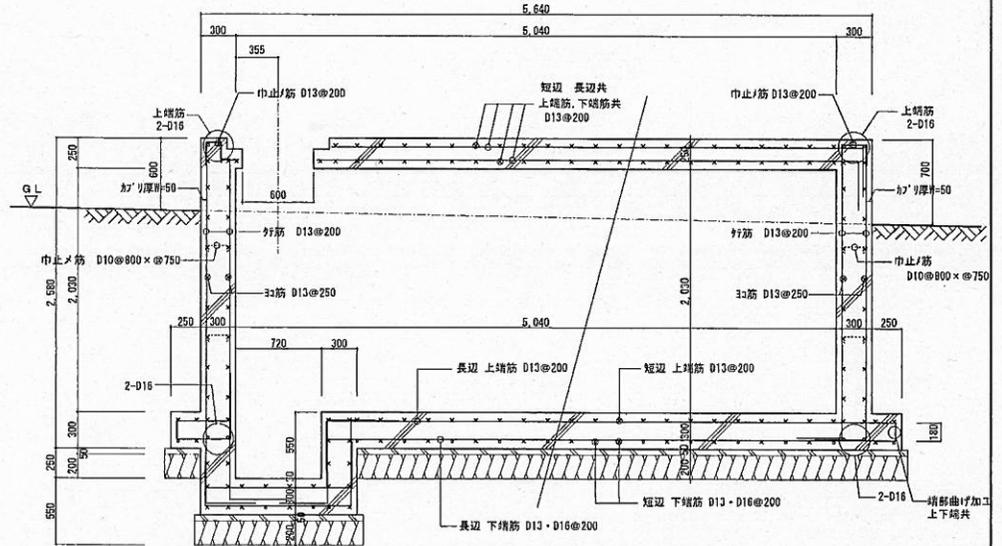

縮尺
 S=1:10, 20, 30
 設計年月日

工事名称 平成29年度 防火水槽設置工事 1号 (石川)
 図面名称 断面詳細図 標識詳細図

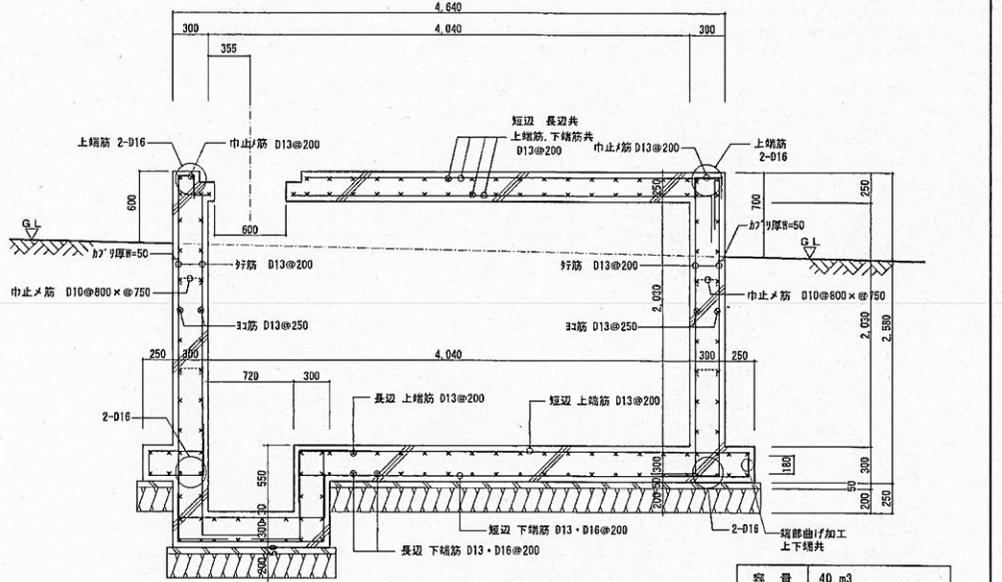
1-03
NO.



上版・底版スラブ配筋図 1:30



X-X' 断面詳細図 1:30



Y-Y' 断面詳細図 1:30

容量	40 m ³
内寸法	5.0 × 4.0 × H2.0
地盤面か/高	GL +600
備考	

特記事項	
1. 普通コンクリート	FC 24 N/mm ² (免注強度はFC 27 N/mm ² とする)
2. 捨てコンクリート	FC 18 N/mm ²
3. 鉄筋	D10~D16 SD295A 量+程手
4. 許容地耐力	1t _e = 50kN/m ² (α-A層と推定) 但し地業工事において、地耐力の確認(目標)を すること。地耐力が確保できない場合は基礎形状 形式の変更もありうる。

配筋リスト		
上版 スラブ (t=250mm)	短辺	上端 D13 @200 下端 D13 @200
	長辺	上端 D13 @200 下端 D13 @200
底版 スラブ (t=300mm)	短辺	上端 D13 @200 下端 D13・D16 @200 交互
	長辺	上端 D13 @200 下端 D13・D16 @200 交互
壁 (t=300mm)	外筋	D13 @200
	内筋	D13 @200
	外筋	D13 @250
	内筋	D13 @250

一級建築士事務所 (有) クボタ建築設計事務所
 茨城県 第A2210号 (2805)
 建設大臣登録第210340号
 一級建築士 久保田 吉文

設計 担当 製図

縮尺
 S=1:30
 設計年月日

工事名称 平成29年度 防火水槽設置工事 1号 (石川)
 図面名称 構造図